

# 翌檜 ~習慣は力なり~

旭川永嶺高校  
進路指導部通信  
令和7年6月10日  
3年次版第2号  
(文責 仲俣)

## 受験方法の決定に向けて 三者面談、総合型・推薦ガイダンスの前にやるべきこと

★最新の学校案内・入学者選抜要項配布はじまる・・・早めに手に入れよう！

すでに受験方法の検討を始めていると思いますが、そろそろ最新のものが出てきます。目を通しておきましょう。また、特待生試験などについて早めに知っておくと、いざ挑戦しようと思った際に、余裕が持てます。ネット出願が増えています。資料もHPでダウンロードするのみのものも多いです。まずは自分でしっかりと読み、それから保護者の方と一緒に見て、一緒に考えてもらうことも忘れずに。

★オープンキャンパスの参加は どうする？

総合型や学校推薦型の入試を考えている人は行けるならば3年次でも行っておいた方が良いでしょう。学校、大学によっては受験対策を行っていたり、志望理由が再確認できたりするためです。一般受験の人でも面接などがある場合は参加を検討しましょう。昨年度の卒業生も総合型の自己PRプレゼンの方法を聞いてきたとか先輩と話して気持ちを固めたとかいうことを話していて、モチベーションUpにもつながるようです。オープンキャンパスの申込が6月スタートのところもあります！気づいたら終わっていたということの無いように、まずはホームページのチェックを！

### { オープンキャンパスでみるべきところ }

#### ①学ぶ内容は？

同じような学部・学科でも大学・専門学校によって学べる内容や特徴が違うもの。その内容は自分が学びたい学問と合致しているかどうか、どんな方法で学ぶのか、また、履修できる授業や身につけられる資格や技術・知識は何か、細かく確認しよう。

#### ②求めている学生像・求められる力は？

要項やパンフレットでもわかることはあるけれど、実際に話を聞いてみると、その大学・専門学校の思いが理解できるはず。理解を深めるためにもしっかり聞いてこよう。

#### ③大学の雰囲気や施設は？

先生方や学生の様子を見たり感じたりすることは大切なこと。在校生に相談できる時間を設けていることもあるので、気になることは確認してこよう。先輩から聞いたリアルな話が学校選びに有効なことも多いようです。

#### ④受験方法や特待制度などは？

質問会などで気になる内容はしっかり聞いてきましょう。過去問を配布しているようなところもありますよ。

楽しただけで終わりにならないよう、行った後は必ず記録をしておき、「誰から、どんな話を聞いたのか」「どこで、何を見たのか」「自分はそこで、何を感じ、何を考えたのか」「これから受験までに自分が何をすべきか」を整理して、志望を強くしましょう。

《 志望理由の掘り下げをしてみよう 》 ※総合型・推薦型選抜、就職の人は夏休みまでにやっておこう

#### ① 自分について振り返って 過去・現在・未来を明らかにする

- ・希望するきっかけ(興味・関心)は何か(過去)
- ・高校で何をしてきたか(過去)
- ・その結果どのように成長したか(現在)
- ・大学で何をしたいのか(未来)
- ・何をして社会貢献をするのか(未来)



- #### ② 進路先について調べ、 望む人物像やできることを知る。 進路先のニーズと自分のニーズをつなぐ
- ・進路先のアドミッション・ポリシーやホームページ、要項などをみて、求める人物像と自分が合致するのか、説明できるか。
  - ・自分のニーズ(未来像)と合致していることを説明できるか

## 学校祭準備がはじまる・・・自分の持ち味を活かすチャンス

3年次生にとってとても大事な前期中間考査、そして永嶺ウォークが終わりました。ここからは学校祭準備が本格化しますね。学校祭はクラス全体、または部活動で大きな目標に向かって進むことのできる貴重な機会です。その中で、**自分にできることを見つけて自主的に活動したり、立ちほだかる困難を(学校祭準備期間には必ずある！)仲間と力を合わせて乗り越えたりと、かかわり方によって大きな成長にもつながるはず。**

面接試験や自己推薦書を書く際に、「高校生活の中で頑張ったこと」として、「学校祭の準備」をあげる生徒もいます。本当に力を入れてきたのかどうか、他者に伝える客観的な根拠として、「何を、どんなふうに、努力し、乗り越えたのか」などを、**具体的に語れる**かどうかは、とても重要なのです。志望理由で自己の掘り下げをやってみたとき、自分の高校生活について、語れることが少ないかもしれないと思う人は、ここがよい機会ではないでしょうか。最後の学校祭、どんな立場でも自分らしくできることをやってみることで。

## 人間関係はとても大事

「受験は団体戦」とよく言われますが、進路指導部長の山田先生の言葉にもあるように「受験は個人戦。でも受験勉強は団体戦」というのが現実的なものだとも私も考えます。人は周りの雰囲気の影響をとて受けやすいものです。「自分はそうではない、一人でも大丈夫だ」と思っているときも自然と周りの様子が目に入り、聞こえてきて影響を受けます。自分がんばろうと思っているときに、「面倒くさい」「やりたくない」というマイナスの言葉が聞こえてくるのがどれほど迷惑なことか。嫌な気持ちになる。やる気が削がれる。マイナスになった気持ちをもう一度奮い立たせるのは、大きな負担となります。

逆に学校祭などの行事の際もそうですが、困っていたら助け合う、わからないことを教え合うような雰囲気は不安が軽減されて、「よしもう少しがんばるか」という意欲にも繋がります。

進学一般受験の方はまだまだ受験は先のことのような気がしているかもしれませんが、この時期からは「**受験が本格化して勝負をかけてがんばっている人が常にクラスの中にいる**」と考えなくてははいけません。専門学校のAO試験が始まっています。公務員志望の人たちは願書を書いたり、勉強も必死でやっていたりします。総合型で受験する人たちも志望理由を考えるころでしょうか。

「今、大変なことと向き合っている」という人が3月までずっといつづけることを心に留めておいてほしい。また、「つらさや不安を口にしたり、相談に乗ったりできる雰囲気をもちながら、ひたむきにがんばるお互いをリスペクトする」という仲間づくり、クラス環境ができるよう、まずはこの学校祭に取り組んでみましょう。

## 進路に関する今後の日程（夏休みまで）

6/15(日) 第1回小論文模試

21(土) 進研総合学力模試

27(金) 総合型選抜出願指導 (4h)

7/12(土) 公務員公開模試

14(月)～夏休み直前講習

15(火) 推薦ガイダンス (7h)

26(土) 夏期講習開始・公務員模試⑥